

# 家庭教育部

## 紹介書籍・DVD・セミナー vol.6



日本同盟基督教団家庭教育部

## 目次

<b>《1》書籍紹介</b> .....	2
【1】「いのちあふれる家庭を求めて」.....	2
著者：堀江通旦、ヒルデガルト・堀江.....	2
【2】「子育てが楽になるアンガーマネジメント 上手に怒る人になる」.....	9
著者：小淵朝子.....	9
【3】「聖なる婚活へようこそ」.....	13
著者：水谷 潔.....	13
【4】「“育つ”こと “育てる”こと — 子どもの心に寄り添って」.....	15
著者：田中 哲.....	15
【5】「働き方改革より父親改革 仕事も家庭もうまくいく10のツール」.....	18
著者：グレゴリー・スレイトン.....	18
【6】「夫婦となる旅路 一心同体となる霊性の成長」.....	21
著者：豊田信行.....	21
【7】「離婚から立ち直る～心の傷と痛みからの解放」.....	24
著者：エリック・カステンスキル.....	24
<b>《2》セミナー紹介</b> .....	28
【1】「中絶後グリーフケアミニストリー」Webセミナー.....	28
1. 「中絶後ピアカウンセラー養成セミナー」(Web).....	29
2. 「いのちと性教育セミナー」(Web).....	31

## 《1》書籍紹介

### 【1】「いのちあふれる家庭を求めて」

**著者：堀江通旦、ヒルデガルト・堀江**

**対象：**子育て中の方、未信者が入ってもOK、小グループ

**方法：**毎回読み合わせて、内容について分かち合う

**回数：**1回4項目ごとで8回ぐらい

#### 1. この本を読むにあたって

**著者：**堀江通旦

1941年広島に生まれる。1965年九州大学医学部卒業後、同大学精神医学教室に入局。1967年渡独。専門医の訓練を受けるため3箇所専門病院のほか、ハイデルベルグ大学で研修。1973年ハイデルベルグ大学学位取得。1975年ホルトハウスにて開業。ドイツ語圏諸国で公演活動、ドイツ、ブロックハウス社より夫人との共著多数出版。1989年カナダ、ヴィクトリアに渡り、ドイツ・カナダ宣教団体で、北アメリカへのラジオ伝道放送にあたる。カウンセリングに従事し、講演活動を続けながら、バンクーバー、リージェントカレッジ、トリニティ・ウエスタン大学でも非常勤講師として教鞭をとる。

**：ヒルデガルト・堀江**

ドイツに生まれる。キリスト教神学を学んだ後、作家として子ども向けのキリスト教番組の脚本家として長年にわたり国営放送局、トランス・ワールドラジオのドイツ支局、エヴァンゲリウムス・レントファンク（福音放送）に勤務。堀江通旦氏と結婚。少年少女から大人に向けたキリスト者の伝記や物語を多数出版。

**訳者：**山形由美

**出版社：**いのちのことば社

**出版年：**2018年9月

**本の要点：**

この本は、著者夫妻の実際の子育ての体験に基づいて書かれている。「何よりも守るべきは家庭ではないでしょうか」というのがキーワード。家庭や子どもにとって本当に良いと信じることを、自由と勇気を持って実践していくための秘訣が記されている。

## 本の内容：

はじめに—家庭は時代遅れか？

### 第1章 家庭は安心の場である

1. 帰属意識がもたらす安心感
2. 家庭の特質と構造
3. 家庭におけるコミュニケーション
4. 「理想的と思われる家庭」と「問題が起こりそうな家庭」
5. 夫婦関係
6. 神は人を男と女に創造された
7. 「理想的と思われる家庭」と「問題の起こりそうな家庭」の典型的特徴
8. 役割行動
9. 役割行動と結婚
10. 繰り返される家庭の歴史
11. 離婚について
12. シングルマザーの問題に関して

### 第2章 訓練の場としての家庭

1. 訓練の場としての家庭
2. 子どもの欲求
3. 子どもを訓練すること
4. 発達段階
5. 成長は時を要するもの
6. 早すぎる性教育について
7. 制限を与える
8. ほめること・叱ること
9. 陥りやすい誤り
10. 子どもと手伝い
11. 子どもの遊びと余暇の過ごし方
12. 子どもを取り巻くインターネット社会について
13. 子どもの個性
14. 臆病な子ども
15. 個人の尊厳
16. 信仰の継承

### 第3章 希望と新たなスタート

1. 子どもという鏡に映し出された親の姿
2. 両親として自信を失うとき
3. 新たな視点
4. 神の家族

## 2. 確認コーナー

### 第1章 家庭は安心の場である

#### 1. 帰属意識がもたらす安心感

人生の最初に経験する人間関係の質が、人のその後の発達において決定的な意味を持つということについてと、心休まる場である家庭の「帰属意識」について話し合ってみましょう。

#### 2. 家庭の特質と構造

将来の社会生活に耐え抜く力を養う稽古場としての家庭の役割を確認してみましょう。

#### 3. 家庭におけるコミュニケーション

家庭の健康状態を示すバロメーターとしての家庭のコミュニケーションについて話し合ってみましょう。キーワードは「相手に心を向ける」「相手の話を聞く」「家族全員で話せるような場づくり」

#### 4. 「理想的と思われる家庭」と「問題が起こりそうな家庭」

「家族としての強い一体感」「家族で一緒に過ごす」「互いに褒める」をキーワードにして家庭について話し合ってみましょう。

#### 5. 夫婦関係

家庭全体の支えである夫（父親）と妻（母親）の基本関係の本質的要素である「愛」について確認し合ひましょう。

#### 6. 神は人を男と女に創造された

男女間の違いについて話し合ってみましょう。夫婦関係の衝突の対処の仕方について確認し合ひましょう。

#### 7. 「理想的と思われる家庭」と「問題の起こりそうな家庭」の典型的特徴

列挙されている特徴についてそれぞれ自分の家庭において振り返ってみましょう。

#### 8. 役割行動

家庭における役割行動について話し合い、「成熟した人格」となることによって広がる自由さについて分かち合ひましょう。

## 9. 役割行動と結婚

恋愛し結婚したばかりの理想的な夫婦が陥る、生まれ育った家での役割の弊害を確認しましょう。また、結婚カウンセリングの意義を分かち合しましょう。

## 10. 繰り返される家庭の歴史

生まれ育った家庭での精神的苦痛の原因を子どもに受け継がせてしまう危険性について話せる範囲で分かち合ってみましょう。

## 11. 離婚について

離婚によってもたらされる不幸によって、離婚した父親、母親へのサポート、また離婚家庭の傷ついた子どもたちへの支援が必要であることを確認し合しましょう。

## 12. シングルマザーの問題に関して

シングルマザーの父親不在という心理的、経済的、社会的影響と、その影響を受ける子どもの成長への弊害について話し合しましょう。

## 第2章 訓練の場としての家庭

家庭が果たすべき責任を果たせていない家庭で育った子どもたちは問題行動を起こしてしまいますが、その子どもたちが本当に求めていることは何ですか。

### 1. 訓練の場としての家庭

家庭のさまざまな機能を挙げ、人生のさまざまな局面に対応していくための「訓練の場」としての家庭の役割の重要性を分かち合しましょう。

### 2. 子どもの欲求

子どもの基本的要求に対する母親の反応が、子どもの根本的な信頼感の形成にどのように影響していくのか話し合ってみましょう。

### 3. 子どもを訓練すること

将来、良い人間関係、社会的な相互関係を築ける子どもとして育ていくための訓練について分かち合ってみましょう。

### 4. 発達段階

子どもの成長を理解するために人間の発達特有の段階を意識し理解しましょう。またそれが自分自身をよりよく知り、人間が「自分自身」として形成されるために、親しい相手「あなた」の存在で、人は人として形成されていくということを確認し分かち合しましょう。

#### 5. 成長は時を要するもの

子どもの成長には時が必要で、人間の成熟は先取りできないものですが、「待つ」ことの大切さについて分かち合しましょう。

#### 6. 早すぎる性教育について

「性教育」は、子どもが責任感をもって生きるということを学び、子どもたちが肉体的にも精神的にも成熟し、「性」が全人格に統合された、真に人を愛することのできるような大人に育てることです。満足と欲求、緊張に耐えることについて分かち合しましょう。

#### 7. 制限を与える

子どもへの制限と適度な自由について、「しつけと体罰」「虐待」「親の怒りのコントロール」「親の無条件の愛」などをキーワードにして分かち合ってみましょう。

#### 8. ほめること・叱ること

子どもの積極的な努力を促す「ほめること」、子どもに理解できるような「叱り方」について分かち合しましょう。

#### 9. 陥りやすい誤り

子どもへの優先順位、親の愛情、過剰な期待や贈り物、子どもに悪影響を及ぼす家庭環境などについて話し合ってみましょう。

#### 10. 子どもと手伝い

健康な子どもに責任をもってできる仕事を与えること、親と一緒に何かをやり遂げる経験、「自分も役に立てる」という機会を与えること、親の価値基準に当てはめないことなどについて分かち合しましょう。

#### 11. 子どもの遊びと余暇の過ごし方

両親と子どもの関係構築のために必要な遊びと余暇の過ごし方について分かち合しましょう。

#### 12. 子どもを取り巻くインターネット社会について

ネット依存、それに対して身近な家族や友だちとのつながりを強くする工夫について話し合ってみましょう。

### 13. 子どもの個性

子どもたちを均一化せず、子どもの才能をどのように見いだすか、一人ひとりの違いを尊重することについて話し合ってみましょう。

### 14. 臆病な子ども

臆病な子どもたちに対する両親の対応の仕方について分かち合ってみましょう。

### 15. 個人の尊厳

家庭における精神的自由空間をどのように確保していけば良いのかについて話し合みましょう。

### 16. 信仰の継承

家庭礼拝の持ち方、子どもと神をつなぐ役割、神の御前で子どもたちのために祈ることなどについて分かち合みましょう。

## 第3章 希望と新たなスタート

### 1. 子どもという鏡に映し出された親の姿

両親の模倣からどう学ぶか、また父親として母親として互いにどのように子どもたちに接しているか、家庭における習慣が将来の子どもたちが築いていく新しい家庭にどう受け継がれていくか、両親と子どもの確かな信頼関係、親の権威と尊敬、などについて分かち合い話し合みましょう。

### 2. 両親として自信を失うとき

子育てにおける失敗を認めることが何よりも大切ですが、自分たちの失敗について子どもたちと率直に話し合ったことはありますか。話せる範囲で分かち合みましょう。

宿題：それぞれの家庭で、子どもたちに与えてしまった損害を、神が良きものへと変えてくださるよう夫婦で祈り合みましょう。

### 3. 新たな視点

家庭の問題に対して自分の生まれ育った家庭を新たな健全なバランスと柔軟性ある視点に立って見直し、自分の「土壌」であった家庭を受け入れ肯定することについて分かち合みましょう。



#### 4. 神の家族

「神の似姿」として創造された私たちが、私たちの行いや存在をとおして神の御姿を反映させながら生きるという使命を果たすために生かされていることを確認しましょう。

また神との新しい関係から癒された「神の家族」として、主に喜ばれることを行える希望について分かち合しましょう。

## 【2】「子育てが楽になるアンガーマネジメント 上手に怒る人になる」

著者：小淵朝子

- ・対象：夫婦、ママ友グループ、女性会（夫人会、婦人会）
- ・方法：グループ読みあわせ、分かち合う。
- ・回数：14回（1回1章ずつ）

### 1. この本を読むにあたって

著者：小淵朝子

臨床心理士。一般社団法人アンガーマネジメント協会アンガーマネジメントファシリテーターTM。玉川聖学院カウンセラー。青葉台カウンセリングルーム代表。

出版社：いのちのことば社

出版年：2018年

本の要点：

怒りはよくないと思いつつ怒ってしまっって後悔する、こんな経験に悲しみを覚えている人々はいはらず。怒りはコントロールできない感情ではないと励ましを与え、怒りのメカニズムや具体的な行動を教示している本。子どもに対してだけでなく、他の家族にも、友人との関係においても用いることができる。さらに、子どもたちにもアンガーマネジメントの習慣を示すことができる。

本の内容：

- 第1章：自分の怒りと向き合ってみよう
- 第2章：怒りを可視化しよう
- 第3章：反射的に怒りを表さない
- 第4章：今・ここ・私に意識を向ける
- 第5章：怒りを感じやすくなる状況に気をつける
- 第6章：怒りの奥にある気持ちに目を留める
- 第7章：怒りの引き金思考
- 第8章：「べき」の違いが怒りを生む
- 第9章：怒りの仕分け作業
- 第10章：怒った時に自分に投げかけたい質問
- 第11章：怒りを生みやすいSNSの罠

- 第12章：伝わらなければ意味がない
- 第13章：上手な怒りの伝え方
- 第14章：アンガーマネジメントは若いうちから

## 2. 確認コーナー

分かち合いましょう。それぞれ作業したことも分かち合ってください。

### 第1章：自分の怒りと向き合ってみよう

- ① 怒ってしまったことで後悔していることはありますか。
- ② 怒りについて気づかされたことはありましたか。

### 第2章：怒りを可視化しよう

- ① アンガールogをつけるためにどのようなことが必要になると思いますか。
- ② 少し時間をとって、自分の怒りのスケールを作ってみましょう。

### 第3章：反射的に怒りを表さない

- ① アンガールogをつけてみての感想を分かち合いましょう。よかった点、うまくできなかったことなども挙げて、話し合ってみてください。
- ② 怒りの表現を遅らせるテクニックについて、取り組んでみようと思ったものを挙げてみてください。

### 第4章：今・ここ・私に意識を向ける

- ① 怒りの表現を遅らせるテクニックを用いてみた感想を分かち合いましょう。よかった点、うまくできなかったことなども挙げて、話し合ってみてください。
- ② 「葉っぱのワーク」をやってみましょう。どんな思いを葉っぱの上のせましたか。
- ③ 自分の生活の中で見直したいことはありますか。具体的にどうしていきたいかを書き出して、分かち合いましょう。

### 第5章：怒りを感じやすくなる状況に気をつける

- ① 自分の怒りが生じやすい状況を知っていますか。自分のアンガールogを見て、気づいたことは何でしょうか。
- ② 自分の子どもにどんな期待をしているか、気づいたことがありますか。

### 第6章：怒りの奥にある気持ちに目を留める

- ① 自分の怒りの奥に感情があることについて、どんなことを感じましたか。

- ② 怒りの奥にある第一次感情に気づくためにどうしていきたいと思いますか。

### 第7章：怒りの引き金思考

- ① 自分の中にはどのような「引き金思考」があると思いますか。
- ② それに対する「対処思考」を考えてみましょう。

### 第8章：「べき」の違いが怒りを生む

- ① 自分のアンガーログのどれか一日を見て、自分の中にある「べき」「理想や期待」を書いてみましょう。
- ② お互いの「べき」にコメントし合い、そのコメントを受けて自分が感じたことを書き出しましょう。
- ③ 自分でスリーコラムテクニックを試してみましょう。

### 第9章：怒りの仕分け作業

- ① これまで行ってきて、感じている変化はありますか。
- ② 自分の生活の中でどのように「現実の問題」と「感情の問題」を整理することに組みたいと思いますか。

### 第10章：怒った時に自分に投げかけたい質問

- ① P.103 の家族旅行の話についてどんなことを思いましたか。
- ② 二つの質問について、思ったことや考えたことはありますか。

### 第11章：怒りを生みやすいSNSの罠

- ① どんなSNSを用いていますか。SNSをしていてよかったこと、嫌な思いをしたことはありますか。
- ② 気をつけたいなと思うことはありましたか。

### 第12章：伝わらなければ意味がない

- ① 伝わりにくい怒り方の例について感じたことはありますか。
- ② 気をつけたいなと思う表現はありましたか。

### 第13章：上手な怒りの伝え方

- ① 自分のコミュニケーションはどんな傾向をもっていると思いますか。
- ② アサーティブコミュニケーションについてどんなことを思いましたか。

### 第14章：アンガーマネジメントは若いうちから

- ① 子どもと一緒に学ぶ準備として、「表情を描いた絵」を用いて、表現して

みましょう。

- ② 子どもと一緒に学ぶ準備として、「怒りの感情」そのものを絵にしてみました。
- ③ これまで行った中で、一番身に着けたいスキルは何ですか。そのためにどんな工夫をしていきたいですか。

## 【3】「聖なる婚活へようこそ」

著者：水谷 潔

対象： 結婚を考えている人、若者（まだ結婚を考えていない人も）、教会  
次世代の祝福された結婚を願っている人

方法： グループ読み合わせ、分かち合う

回数：6回（1回1章ずつ）

### 1. この本を読むにあたって

著者：水谷 潔

1961年生まれ、高校教師を経て伝道者の道へ。母教会で10年の働きの後、「小さいのちを守る会」の主事に就任。12年3月まで代表。退職後は春日井聖書教会（JECA）協力牧師。16年4月よりキリスト教性教育研究会・会長。04年にテレビ番組「たかじんのそこまで言って委員会」にゲスト出演、昨年はプレジデント誌にインタビュー記事が掲載。現在は、東海ラジオ放送「世の光」パーソナリティー、ゴスペルクワイヤーのチャプレン。著書は『聖なる婚活へようこそ』等、いのちのことば社から8冊。

出版社：いのちのことば社

出版年：2019年

#### 本の要点：

著者が学生や青年との関わりのなかで痛感しているのは、一般社会同様、結婚したがらない男性や結婚を先送りにしようとする男性たちの増加。そして、ますますボリュームアップする「出会いがない」「いい人がいない」と訴える女性たちの声。クリスチャン男性との結婚を願いながら、そのための具体的な努力をしないまま、未信者男性と結婚していく女性たち。「結婚したいのだけれど、何をどうすればいいかわからない」との葛藤の声。そこで提案するのが「聖なる婚活」。キリスト教会にあっても、結婚を願うクリスチャンの周囲は大きく変化している。とりわけ、クリスチャンと結婚するには、積極的で具体的な努力が必要。本書は「聖なる婚活」の必要性を訴え、その基本となる聖書の結婚観を示し、それに基づく「価値転換」をチャレンジする。特に、クリスチャンとの結婚に向けて自分を整えていくことに主眼を置いている。

#### 本の内容：

第1章 クリスチャンも婚活の時代？

第2章 「父母を離れ」-結婚前の前提は自立

- 第3章 「結び合い」-出会いより結婚後の生活
- 第4章 「二人は一体となる」-何のための一心同体か？
- 第5章 「結婚系神の民への十戒」
- 第6章 「脳内婚活を後にして、踏み出そう信仰の一步を」

## 2. 確認コーナー

分かち合いましょう

### 第1章 クリスチャンも婚活の時代？

- ① 教会や周りのクリスチャンから、婚活についての具体的な方法やアドバイスを受けたことはありますか。
- ② クリスチャンの婚活について、教会や親との間で世代間ギャップを感じたり、分かり合えないと感じたりすることはありましたか。

### 第2章 「父母を離れ」-結婚前の前提は自立

- ① あなたは今の時点でどの程度親から自立していると思いますか (p. 24)。
- ② 結婚に至るまでのプロセスについて具体的に考えていることはありますか (p. 31)。

### 第3章 「結び合い」-出会いより結婚後の生活

- ① 3章を読んで、クリスチャンの結婚について確認したこと、新たに学んだこと、考えたことがあれば、自由に分かち合いましょう。
- ② あなたは、どういう結婚相手が望ましいと考えますか。

### 第4章 「二人は一体となる」-何のための一心同体か？

- ① 「三つの選択」(p. 57) について、あなたはどうか答えますか。
- ② 結婚を考えるうえで、仕事について心配していることはありますか。(例：結婚・育児と仕事の両立、職場の理解など)

### 第5章 「結婚系神の民への十戒」

- ① 「結婚系神の民への十戒」の中で、印象に残ったこと、教えられたことなどを分かち合ってみましょう。
- ② あなたにとって一番の課題と思われることは何だと思いますか。

## 【4】「“育つ”こと “育てる”こと — 子どもの心に寄り添って」

著者：田中 哲

対象：子育て中の親、教会学校奉仕者、発達障害について知りたい方など  
(未信者の方でもわかりやすい内容です)

方法：グループ読み合わせ、分かち合う

回数：6回(1回1章ずつ \*6回目は2章分行う)

### 1. この本を読むにあたって

著者：田中 哲

精神科医師。日本福音教会連合 千歳烏山光の子聖書教会 会員。子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ院長、山梨県立こころの発達総合支援センター所長。専門は児童思春期精神医学、児童虐待の臨床、発達障害。日本子ども虐待防止学会理事、認定NPO法人『チャイルドファーストジャパン』理事などを兼務。著書『見えますか、子どもの心』『発達障害と「その子らしさ」』(いのちのことば社)。

出版社：いのちのことば社フォレストブックス

出版年：2016年

#### 本の要点：

本書は、子どもが自立に至るまでの「心の育ち」がテーマ。それにまつわることとして発達障害・愛着障害にも触れられている。とくに発達障害などの問題は「治療」という観点から考えられやすいが、重要なことは心の奥にあるもっと大きな問題に手をつけることである。そして子どもが抱える問題を理解するためには、「心の育ち」とどう関係があるのかを考えなければいけない。

子どもにとって大切なのは、自分の心の育ちを大切に思ってくれる大人と出会うことである。他方、大人である私たちが子どもに寄り添うことは、自分の子ども時代や関わりのあった大人たちを思い起こすことであり、自分が大人であることもまた意味づけられ、さらに成長する余地を見つけ出すことができる。私はどういう大人になりたかったのだろうか、大人とはどういう存在でなくてはならないのかは、子どもたちと出会い、自分の中の子どもと出会うことでしか見えてこない。子どもと付き合っていくということは、共に育つことができるという特権である。

#### 本の内容：

I 子どもの心の育ち



- 第1章 人の心と育ちの環境
- 第2章 心の育ちの基盤づくり
- 第3章 心の骨組みと心の発達
- II 生きにくさを抱えた子どもたち - 発達障害・愛着障害
- 第4章 発達障害・愛着障害とは
- 第5章 子どもが抱える不安・ストレス
- 第6章 子どもたちの成長と環境
- 第7章 子育てとコミュニティ

## 2. 確認コーナー

分かち合いましょう

### I 子どもの心の育ち

#### 第1章 人の心と育ちの環境

- ① 自分の子ども時代、心の成長において、とくに影響を受けた人や影響を受けた環境はありますか。どういう影響を受けましたか。
- ② あなたの子どもの「生まれ持った素質」はどのようなものだと思いますか。

#### 第2章 心の育ちの基盤づくり

- ① 現在あなたにとって関わりのある子どもはいますか（我が子、教会、親戚、地域など）。改めて考えてみましょう。
- ② 「三本柱」や「生まれてからの一年で育まれるもの」を読んで、新たに知ったこと、学んだこと、考えたことがあれば分かち合ってみましょう。

#### 第3章 心の骨組みと心の発達

- ① 我が子（あるいは、自分が関わっている子ども）は、どの発達段階にありますか。その段階の特徴について本書から新たに学んだこと、確認したことを分かち合ってみましょう。
- ② 親であるあなた自身の課題、また親子関係における課題はなんですか。そのためにどのようなサポートを周りから受けたいですか。

### II 生きにくさを抱えた子どもたち - 発達障害・愛着障害

#### 第4章 発達障害・愛着障害とは

- ① 発達障害や愛着障害について、新たに学んだことはありましたか。理解を深めることは実生活のなかでどのような意義がありそうですか。
- ② 虐待、いじめ、不登校について理解を深めた点はありましたか。気づいたこと、学んだこと、考えたことを自由に分かち合いましょう。

## 第5章 子どもが抱える不安・ストレス

- ① あなたの子ども（また関わりのある子ども）は、具体的にどのようなストレスを抱えていると思いますか。
- ② それに対する適切な関わりとはどのようなものだと思いますか。

## 第6章 子どもたちの成長と環境

### 第7章 子育てとコミュニティ（6、7章の分かち合いは1回で行う）

- ① 現代の子どもを取り巻く環境はあなたが子どもの頃とどう変わりましたか。子どもの心や育ちにどのような影響があると思いますか。
- ② あなたの住んでいる町や地域には、どのようなコミュニティ資源があるでしょうか。
- ③ あなたの教会では地域の子どもたちとどのような関わりを持っているでしょうか。また今後どのような関わりを持つことができるでしょうか。

## 【5】「働き方改革より父親改革 仕事も家庭もうまくいく10のツール」

著者：グレゴリー・スレイトン

- ・対象：子育て中の父親
- ・方法：グループ読みあわせ、分かち合う。
- ・回数：16回（1回1単元ずつ）

### 1. この本を読むにあたって

著者：グレゴリー・スレイトン

作家、外交官、教授、実業家、慈善家。ダートマス大学、フィリピン大学（修士）、ハーバード・ビジネス・スクール卒業。マッキンゼー・アンド・カンパニー、パラマウント社テクノロジーグループなどシリコンバレーで上場企業や非上場企業の最高経営責任者（CEO）など歴任後、ベンチャーキャピタリストとして活躍するとともに、グーグル、セールスフォース・ドットコム、ブルームエナジーなどの顧問も歴任。

訳者：糟谷恵司、新美幸子

出版社：いのちのことば社フォレストブック

出版年：2021年

#### 本の要点：

父親改革とタイトルにあるように、主に家庭の中で子育てに奮闘している父親がメインの対象ではあるが、家庭における父親の役割、立場が変化している現代においては家庭を持つすべての男性を対象とされている。

まず父親の役割、働きがどれほど大切であるかを確認している。家庭で父親がその役割を果たすかが子の将来に、またその子どもの将来に結びつき、社会の将来に続くからだ。

父親改革は、将来に向けてのビジョンを立てることから始める。闇雲に改革を行うのではなく、目標を立て、決まりを作る、これは人生の旅路において導き、助けになるものだ。参考として載せられている著者スレイトン家のビジョンは素晴らしく、模範となるものだろう。

そしてメインの10のツールだ。何か作り上げる時には必要なツール（道具）が必要であるように、ビジョンに向かっていく上で必要な10のツールをあげている。この10の頭文字を並べると FATHERHOOD（父親になること）になり、本がなくても10のツールが思い出せるようになっている。

またシングルファーザーや様々な状況にある父親たちのことにも触れ、その

状況の中にあつての父親の役割についても触れている。

一冊を通して、一人で学ぶことも出来るが、著者は SNS などにおける父親の繋がりが持たれるよう願っている。そしてこの本自体も父親たちの交わりの中で学び、分かち合い、共に成長することを願って書かれている。

## 本の内容：

### 第一部 人生の旅路

父親であることの大切さ

「家族の高貴なビジョン」の力

父親改革のための十のツールの概要

### 第二部 父親改革のための十のツール

ツール1 ファミリーファースト

ツール2 結婚へのコミット

ツール3 正しいモラルコンパス

ツール4 ハートに届く愛情

ツール5 サーバントリーダー

ツール6 関係改善のスキル

ツール7 天のヘルプ

ツール8 良きパパ友

ツール9 ネバーサレンダー

ツール10 ダイナミックな全面支援

### 第三部 特殊な状況

できるかぎり最高のシングルファーザーになる

人生の課題に対処する方法

遠距離にいる父親のためのアイデア

最後に 父親改革の旅

## 2. 確認コーナー

本の最後に「男性グループの勉強会のためのガイド」という項目があります。

まずリードするための注意事項、踏まえておくべき事柄が記され、各章を読んだ後に確認し合える質問事項が掲載されているので小グループでの学びを行いやすいテキストとなることでしょう。

一例として「父親の役割の重要性」の部分の質問を掲載します。

#### 1 父親の役割の重要性

- 1 父親の役割は、男性にとって最も重要な仕事だと思いますか。なぜそう思う（あるいは思わない）のですか。あなたの見解を説明してください。
- 2 私たちの社会は父親の重要性を軽視していると思いますか。それは父親としての私たちに、どのような影響を与えますか。
- 3 私たちの社会は父親の役割が機能していないために、どのような影響を受けていると思いますか。それは私たち自身の家庭にどのような影響を与えるでしょう。
- 4 父親（および母親）が子どもの将来を何世代にもわたって形作ることができるという意見に賛成しますか。賛成する、反対する理由は何ですか。
- 5 正直に言って、あなたにとって父親の役割とはどのくらい重要ですか。あなたの妻や子どもはあなたの意見に同意しますか。その理由は何ですか。
- 6 今週から「よい父親になる」ために何ができますか。

## 【6】「夫婦となる旅路 一心同体となる霊性の成長」

**著者：豊田信行**

対象：既婚者、結婚を考えている方  
方法：グループ読み合わせ、分かち合う  
回数：10回（1回1章ずつ）

### 1. この本を読むにあたって

**著者：豊田信行**

1964年、大阪生まれ。9歳の時、伝道者だった父が山中での徹夜祈祷会中に33歳で召天。父親不在の母子家庭に育つ。テキスタイルデザイナーを経て献身。1997年、ニューライフキリスト教会（大阪府島本町）の牧師に就任し、今日に至る。おもな著書に『父となる旅路』（いのちのことば社）がある。

**出版社：**いのちのことば社

**出版年：**2020年

**本の要点：**

結婚した二人は「夫婦となる旅路」を歩み始める。そこには、喜びや幸福感だけでなく幾多の困難が待ち構えている。たとえば、父親から承認されなかった夫は自信を持つことができず、妻との関係においても「闘争反応」と「逃走反応」という両極端な反応を繰り返すことがある。妻を自分の情けない姿を暴露し、蔑もうとする脅威と見てしまうからである。あるいは、「完璧主義」の傾向が強い妻は、夫から指摘を受けると自分の存在を全否定された気持ちになり極度に落ち込むことがある。

こうした夫婦の様々な問題を放って置くならば、親密な関係を築くことが難しくなっていく。結婚は互いを傷つけ（もしくは互いに傷つけ合い）、罵り合う修羅場ともなり得る。しかし、結婚の意義を確認しつつ、神によって互いの魂が深く扱われていくとき、夫婦は一心同体となる霊性の成長へと導かれる。

**本の内容：**

- 第一章 結婚と安息
- 第二章 一心同体への壁
- 第三章 一心同体への営み
- 第四章 結婚と罪ののろい
- 第五章 自己義認という支配

- 第六章 結婚と赦し
- 第七章 結婚と拒絶
- 第八章 結婚と真実なアイデンティティの回復
- 第九章 結婚とからだの変容
- 最終章 妻となる旅路 豊田かな

## 2. 確認コーナー

分かち合いましょう。

### 第一章 結婚と安息

- ① 夫婦関係において、祝福を奪い合う関係に陥っていると思うことはありますか。
- ② 「完全に満たされた者」として歩むにはどういうことが必要だと考えましたか。

### 第二章 一心同体への壁

- ① 「母子癒着」についてあなた自身に当てはまることはありますか。
- ② あなたとあなたの両親との関係は適切かどうか考えてみましょう。(配偶者との優先順位など)

### 第三章 一心同体への営み

- ① 自分の感情や幸せについて自分自身が責任を持つ「健全な境界線」を持っていると思いますか。
- ② 自分が「愛する人」へと成熟するには、どういうことが大切だと考えましたか。

### 第四章 結婚と罪ののろい

- ① 夫また妻の責務として、確認したこと、また実行したいことはとくに何ですか。
- ② 自分が配偶者とキリストの従順を学び、実践するには、どういうことが必要だと考えましたか。

### 第五章 自己義認という支配

- ① 「自己義認」や「屈折した怒り」が夫婦の対立の原因となることはありますか。
- ② 夫婦が友情を築くために、互いになすべきことはどういうことだと考えましたか。

## 第六章 結婚と赦し

- ① 罪を隠すことの害、罪を告白することの恵みについて、気づいたこと、学んだことなどを分かち合ってみましょう。
- ② 罪を赦される側の恵み、赦す側の恵みについて、気づいたこと、学んだことを分かち合ってみましょう。

## 第七章 結婚と拒絶

- ① あなたのストレス反応は「闘争」と「逃走」のどちらの傾向が強いですか。
- ② あなたは、相手への優越感などではない「真の幸福感」がありますか。

## 第八章 結婚と真実なアイデンティティの回復

- ① 真実なアイデンティティを獲得するために、どのようなことが有益だと考えますか。(心構え、視点、祈り、行動など)
- ② あなた自身の「内面化した神」はどういうものですか。神の実像との歪みはあると思いますか。

## 第九章 結婚とからだの変容

- ① 魂だけでなく体の休息のために、普段から意識していること、心がけていることはありますか。
- ② 肉体に住みつく罪の性質、罪への渴きを取り除くには具体的にどういうことが必要と考えますか。
- ③ 本書全体を通しての感想を自由に分かち合ってみましょう。



## 【7】「離婚から立ち直る～心の傷と痛みからの解放」

著者：エリック・カステンスキール

- ・対象：離婚経験者グループ
- ・方法：グループ読みあわせ、分かち合う。
- ・回数：12回（1回1章ずつ）

### 1. この本を読むにあたって

**著者：**エリック・カステンスキールド

英国人。自身の離婚経験を生かして、同様の経験をした人々の人生を立て直すことを援助する働きに貢献している。「人生の立て直し(Restored Lives)セミナー」のリーダー。再婚して新しい家庭を築いている。

**訳者：**立山千里、高辻美恵

**出版社：**いのちのことば社

**出版年：**2018年

#### 本の要点：

離婚という人間関係の破綻は、それからの人生に大きな影響を及ぼすことになる。敗北感、怒り、孤独、自信喪失、様々な感情を隠したまま生きることは、それからの歩みに影を落とす。離婚という大きな経験をして、その傷や痛みから解放され、希望をもって歩むことができる。立ち直ることができる。立ち直りのためのプロセスもある。このプロセスが紹介されている。読むだけでなく、エクササイズを行うこと。一人で孤立せず、グループで、助けを借りながら行う内容になっている。婚姻関係だけでなく、すべての人間関係のトラブルに適応することができる。

#### 本の内容：

第一部 起きたことの結果と向き合う

第1章：希望は必ずある

第2章：心に受けた衝撃を理解する

第二部 コミュニケーションを通して自信を築く

第3章：話すこと、聞くこと

第4章：葛藤の解決

第三部 解放されること

第5章：過去からの自由

第6章：手放すには

第四部 他のみんなはどうなっているの？

- 第7章：他の人間関係をどうするか
- 第8章：子ども
- 第五部 大きな課題について二人で同意する
- 第9章：法的な問題を整理する
- 第六部 前に進む
- 第10章：独身者として前に進む
- 第11章：より良い人間関係を築く
- 第12章：人生の立ち直りと次のステージ

## 2. 確認コーナー

分かち合いましょう。

### 第1章：希望は必ずある

- ① 回復への道のりのどのあたりにいると思いますか。
- ② 離別という経験を乗り越えるために、あなたが最も必要だと思うものは何ですか。

### 第2章：心に受けた衝撃を理解する

- ① 結婚の関係が崩れたことで、あなたが感じているすべての感情を書き出してください。
- ② ここ最近でよく考えることは何ですか。

宿題：一日の中で出てくる感情や強い思いを、心の中に湧き上がるたびにすぐ書いてみましょう。何が影響してそのような思いが出てくるのか、思い巡らして、考えてください。気持ちとそれを引き起こす原因となるものがわかってきます。

### 第3章：話すこと、聞くこと

- ① 結婚生活の中で、コミュニケーションが間違った方向に進んでいったのは、どういうタイミングでしたか。
- ② コミュニケーションをうまくとるための妨げとなっていた一番大きな壁は何だったと思いますか。
- ③ 自分がやめるべきコミュニケーションの方法は何ですか。
- ④ 二人一組になって、「配慮ある聞き方」を実践してみましょう。

テーマ：第二章の宿題で学んだこと

### 第4章：葛藤の解決

- ① 葛藤の解決のために、自分はどのような態度をとろうと決心しましたか。
- ② 話し合う課題は一つずつ、です。あなたは、まずどの葛藤について話を

しようと思えますか。それはなぜですか。

- ③ 話し合いのための時間と場所は、どのように設定しますか。
- ④ 話し合いの時には、どんなことに気を付けようと思いましたか。  
だれかの助けが必要だと思えますか。

宿題：実践してみましよう。

## 第5章：過去からの自由

- ① あなたにとって赦しの意味は何ですか。赦しがもたらす結果は何だと思えますか。
- ② 元配偶者を「赦す」ということを、考えてみましよう。妨げになるものは何ですか。
- ③

## 第6章：手放すには

- ① あなたの心の痛みや、傷の原因となった人の名前を書き出してみましよう。気が付いたことはありますか。
- ② あなたが傷つけてしまった人の名前を書き出してみましよう。どうやって傷つけたのかも書いてみましよう。

宿題：「元配偶者とのスコアカード」「自分とのスコアカード」「神さまとのスコアカード」を作成しましよう。スコアを消しましよう。一度でなくても、少しずつ取り組みましよう。

## 第7章：他の人間関係をどうするか

- ① 離婚によって、友人関係や交友関係はどのような影響を受けましたか。親兄弟との関係、仕事はどんな影響を受けましたか。
- ② 親兄弟、義理の家族との関係はどうなっていますか。
- ③ 仕事ではどんな影響を受けましたか。

## 第8章：子ども

- ① 子どもたちが、今、一番困っている問題は何でしょうか。
- ② どうしたら、子どもたちとの連絡をうまくとり続けることができるか、考えてみましよう。どれをどのように提案しますか。

宿題：共同の子育てのための手紙を書いて、出しましよう。

## 第9章：法的な問題を整理する

- ① 短期的、そして長期的な関心ごとや問題を、具体的にあげてみましよう。
- ② 法的な問題を解決するために、あなたはどの選択肢を選びたいですか。

## 第10章：独身者として前に進む

- ① 「次はどうしよう」という問いかけに対して、どんな思いがわきあがってきますか。
- ② 何か小さなことから変えてみようと思っていることはありますか。  
宿題：元配偶者の祝福を祈りましょう。

## 第11章：より良い人間関係を築く

- ① 性的な関係の誘惑に対して、どのように対処しようと思いますか。
- ② 人間関係全体を通して、どのツールをより深めたいと思いますか。

## 第12章：人生の立ち直りと次のステージ

- ① 今、自分はどのステージにいると思いますか。それはなぜですか。
- ② 自分の現状をどのように感じていますか。素直な気持ちを分かち合いましょう。

## 《2》 セミナー紹介

### 【1】「中絶後グリーフケアミニストリー」Web セミナー

#### 1. 沿革

- ・カナダにある Christian Advocacy Society(慈善団体の登録番号は136223971RR0001)が主催する資格認定と性教育のためのセミナー。  
CAS は、意図しない妊娠、中絶後の悲しみ、家庭内暴力、性的暴行を経験している女性に思いやりのある支援とリソースを提供する信仰に基づく機関。  
教会コミュニティから危機に瀕している人々のために、30 年前に発足した。
- ・中絶後の嘆きを抱える人々に寄り添うこと(Greif Care)、グリーフケアに関する啓蒙活動(Education)、問題を抱える人々のために祈ること(Pray)を、主な活動としている。
- ・また予防として、ティーンズにいのちと性教育をおこなっている。

#### 2. 連絡先

##### **Christian Advocacy Society of Greater Vancouver**

7879 Edmonds Street Burnaby, BC V3N 1B9

[604-525-0999](tel:604-525-0999)

月曜日から金曜日：午前 9 時から午後 5 時

HP:カナダ <https://christianadvocacy.ca/>

HP:日本 <https://griefcareministries.wixsite.com/index/aboutus>

# 1. 「中絶後ピアカウンセラー養成セミナー」(Web)

## 1. 目的

・中絶を理解する

(1)中絶は、神のイメージに対する攻撃であり、神が意図した通りの生命《詩篇139:13,14》を否定すること。

- ① ピアカウンセリングは、和解のミニストリー。人々をイエス・キリストのもとに近寄せること。霊的なもの。ピアカウンセラーは、イエスさまを指し示しながら、一緒に回復の旅を歩む。
- ② 癒しは、神の家族の中にいることでもたらされる。ピアカウンセラーは、イエスさまのように接する。中絶者は、ピアカウンセラーのふるまいを通してイエス・キリストのゆるしを知る。受け入れられているということを経験する。
- ③ ピアカウンセラーは、
  - ・人を完全な者としてくださるキリストに近づける。
  - ・その人の信仰と希望の旅を前進させる。
  - ・苦しんでいる人がキリストに出会えるようにする。
  - ・悩んで悲しんで苦しんでいる人に寄り添う。
  - ・教育や技術、仕事に頼るのではなく、愛に頼る。
  - ・中絶者の痛みを知り、寄り添うために必要なスキルを身につける。

(2)中絶は、子を産む機会を失いこと。グリーフワークが必要。

- ① ピアカウンセリングは、自責と失意の中にいる中絶者へのあわれみのミニストリー。神さまはあわれみ深い方《詩篇4,5,34:18,マタイ9:13》
- ② 安心して悲しむことができる場を提供する。霊的なものであることはもちろん、感情的、精神的、関係的なもので、回復をもたらす。

## 2. 内容

1. 中絶後のミニストリーへのキリスト教的アプローチ
2. 中絶後のストレスとトラウマ
3. グリーフを理解する
4. 癒しの課題作業
5. 感情を理解する
6. 支援スキル
7. グループ
8. スクリーニング&インフォームドコンセント
9. 記録の作成
10. 中絶後ピアカウンセラーの資質

\* オンラインセミナーでは、一回4時間×5回

### 3. 考察

#### (1)活用にあたっての利点

- ① 中絶や中絶経験者への理解に重点を置いている。技術的なことよりも重要なことである。まずピアカウンセラーが整えられる学びである。
- ② 教材も整っていて、セミナーで使用された資料・教材を受け取ることができる。それを用いて、自分のカウセリング計画を立てることができる。すべて受講すると、**Christian Advocacy Society of Greater Vancouver** から中絶後グリーフケアピアカウンセラー認定書が授与され、それを用いて、ピアカウセリングを始めることができる。
- ③ 受講後のフォローもある。カナダと連絡を取り、相談することもできる。
- ④ 毎回のセミナー後にも個人的な相談を受け付けてくれた。

#### (2)活用にあたっての課題・問題点

- ① 心構えを大切にして時間を費やすために、実践的な学びの時間が足りないように思う。実際のカウセリングに参加する機会や、演習する機会を経て、始める必要があると思う。
- ② 専門家である必要はないと思うが、痛みを負う重荷は必要である。
- ③ 日本の文化に適応させるために、ピアカウンセラーチームを作り、情報交換することが必要である。医療従事者や福祉団体との連携も必要になる。情報収集やチーム作りに時間がかかるだろう。

## 2. 「いのちと性教育セミナー」(Web)

### 1. 目的

- ・性・結婚・セックスについての理解を深める。
- ・10代の子どもたちが抱える「いのちと性」の問題を認識すると共に、クリスチャンとしてできること、ノウハウ、教材を提供する。
- ・自分の家庭で、教会で、また、置かれている地域の高校で、性教育を行う。

### 2. 内容

1. 健全な性のための基盤
  2. セックスー美しい絆
  3. セックスで傷つくとき
  4. 10代の性行為への理解
  5. プレゼンテーション
- \* オンラインセミナーでは、一回4時間×5回

### 3. 考察

#### (1) 活用にあたっての利点

- ① クリスチャンの講師陣から、性についての解説を聞くことができるので、神さまの創造のみわざと愛を再認識できる。
- ② クリスチャン医師から、性についての脳科学やホルモンの情報を得ることができる。それが聖書の語ることの裏付けになる。結婚カウンセリングにも活用できる内容である。
- ③ カナダのデータであるが、10代の子どもたちが曝されている状況を知り、その危険を認識できる。正しい性教育の必要性を覚える。
- ④ 講義だけでなくディスカッションの時間があり、課題についての理解を深めることができる。
- ⑤ 最後のセッションで実演を見ることができる。そこで用いたパワーポイントデータを受け取り、自分なりの資料を作ることができる。

#### (2) 活用にあたっての課題・問題点

- ① 実演を見ることができたが、数回分を一度にまとめた内容なので、そのつなぎに違和感が残った。実演を何回かに分けて、それについてのディスカッションをすると、実際に、自分で行なうことができるようになると思う。
- ② 「セックス」ということを恥ずかしながら言葉にできるように練習する



必要がある。神さまの与えてくださっている恵みをよく理解してから、とりかかる必要がある。

- ③ 「いのちと性のサポートミッション」と併用すると取り掛かりやすいと思う。

タイトル：紹介書籍・DVD・セミナーVol.6

発行年月日：2021年11月

レポーター：菊池真恵美、廣岡拓朗、丸山園子、三浦峰人

編集発行：家庭教育部

印刷製本：教団事務所